



EMP-7950 EasyMP[™]

活用ガイド

お使いになる前に

本製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルをよくお読みく ださい。不明な点をいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所 に大切に保存してください。

説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財 産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負 う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が 想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示してい ます。

一般情報に関する表示

〕注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。	
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
••	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。 ● p.84
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタンに表記されている名称を示しています。 例:[戻る]ボタン、[音声入力]端子
「(メニュー名)」	環境設定メニューの項目を示しています。 例:「映像」→「明るさ」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体の ほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

チビット

るの所

ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写する (Network Screen)

目次

	4
各アイコンの名称と働き	4
E ズーム	5
基本設定	6
接続したいプロジェクターが表示されないときは	7
IP アドレスを指定して接続	8
グループを作成して接続	. 11
無線 LAN のセキュリティ対策	21
簡単接続モードで暗号化通信したいとき	. 22
簡単接続モード時に不正アクセスを防ぐ (NS Protect)	. 23
無線 LAN アクセスポイントモードで暗号化方式・	
認証方式を設定する	. 24
ESSID 自動検索を無効にする	. 30
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使	い方
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ	<u>い方</u> 32
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	<u>い方</u> 32 34
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2 の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	<u>しい方</u> 32 34 36
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	<u>い方</u> 32 34 36 37
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2 の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	<u>い方</u> 32 34 36 . 37 . 39
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	32 34 36 . 37 . 39 . 43
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2 の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	32 34 36 . 37 . 39 . 43 . 43 . 45
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2 の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	<u>1.32</u> 34 36 .37 .39 .43 .43 .45 46
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2 の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	 32 34 36 37 39 43 46 48
プレゼンテーションの準備(EMP SlideMaker2の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル	 32 34 36 39 43 46 48 48
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2 の使 コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ シナリオに組み込めるファイル シナリオの作成 シナリオのプロパティを設定する PowerPoint ファイルをシナリオに組み込む 画像や動画ファイルをシナリオに組み込む シナリオを編集する シナリオの転送 こんなときには ンピュータ上でシナリオの投写状態を確認する	 32 34 36 37 . 37 . 39 . 43 . 45 46 48 49

プレゼンテーションの実行 (CardPlayer の使い方)	
CardPlayer で投写できるファイル54	
CardPlayer の使用方法55	
CardPlayer の起動方法55	
CardPlayer の終了方法57	
CardPlayer の基本操作58	
シナリオの投写62	
シナリオの再生	
プレゼンテーション中の操作	
シナリオからスライドを選んで投写する	
シナリオの編集	
画像・動画ファイルの投写	
画像・動画を投写する	
フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に	
投写する(スライドショー)	
画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する71	

コンピュータを使ってプロジェクターの設定・ <u>監視・</u>制御をする

Web ブラウザを使って設定を変更する (EasyWeb)…	74
EasyWeb を表示する	74
プロジェクターの設定	
プロジェクターの制御	77
メール通知機能で異常を通知する	78
メール通知機能の設定	
異常通知のメールが送られてきたら	80
SNMP を使って管理する	

付録

用語解説	
索引	

ネットワーク経由でコンピュータの 映像を投写する(Network Screen)

ここでは、Network Screen使用時に接続したいプロジェクターが見つからなかったときと、無線LANのセキュリティ対策について説明します。

ツールバーの使い方	4
● 各アイコンの名称と働き	4
● E ズーム	5
● 基本設定	6
接続したいプロジェクターが表示されないときは	7
● IP アドレスを指定して接続	8
● グループを作成して接続	
● グループの作成	
●グループを使用して接続	
●グループのエクスポート (書出し)	
●グループのインポート (読込み)	19
無線 LAN のセキュリティ対策	21
● 簡単接続モードで暗号化通信したいとき	

)間単接続モード時に个止アクセスを防く (NS Protect)	.23
) 無線 LAN アクセスポイントモードで暗号化方式・	
	認証方式を設定する	.24
•	FSSID 自動検索を無効にする	30

ツールバーの使い方

各アイコンの名称と働き

コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続すると、次のツールバーが コンピュータの画面に表示されます。



各アイコンの働きは以下のとおりです。

1	2	ヘルプ	EMP NS Connectionのヘルプを表示します。
2		接続状況画面	クリックするたびに、接続状況画面の表示/非表示を切り替えます。接続状況画面を表示すると、現在接続しているプロジェクター名のアイコンが緑に表示されています。接続状況画面では、接続切り替えや追加して接続するなどの操作はできません。
3		プロジェクター 操作URL 表示	EasyWebが表示されます。 (● p.74
4		静止	リモコンの[静止]ボタンと同じ機能です。 ☞ 『取扱説明書』「静止機能」
5	1	ミュート	リモコンの[A/Vミュート]ボタンと同じ機能です。 ☞ 『取扱説明書』「A/Vミュート機能」
6	Ð	Eズーム	プロジェクター本体のEズーム機能と同じ機能です。 設定画面を表示して、見たい部分を拡大できます。 ● p.5
7		基本設定	設定画面を表示して、明るさ、コントラスト、カラー モードを設定できます。 ● p.6 プロジェクター本体の環境設定メニューの「映像」メ ニューで設定するのと同様に設定できます。 ● 『取扱説明書』「映像メニュー」
8	σ	ビデオ系 ソース切替	本体操作パネルの[ビデオ/BNC]ボタンと同じ機能で す。 ☞ 『取扱説明書』「電源ON、投写開始」

9		PC系ソース 切替	本体操作パネルの[コンピュータ/DVI]ボタンと同じ機 能です。 ● 『取扱説明書』「電源ON、投写開始」
10	~~ 切断	切断	現在通信中のプロジェクターとのネットワーク接続を 切断します。
1)		動作状態インジ ケータ	コンピュータとプロジェクターがネットワーク接続しているときに、上、中、下の各インジケータが交互に点滅します。正しく接続できていないときは消灯しています。
(12)	×	終了	現在通信中のプロジェクターとのネットワーク接続を 切断し、EMP NS Connectionを終了します。
13		最小化	ツールバーが最小化され、Windowsの場合はタスク バーにボタンとして表示されます。 Macintoshの場合はDockに格納されます。

Eズーム

「Eズーム」アイコンをクリックすると、次の設定画面が表示され、ズーム倍率や 位置などの調整ができます。



Eズーム	Eズームの倍率を調整します。 「+」ボタン:拡大する 「-」ボタン:拡大した結果を縮小する リモコンの[Φ][Q]ボタンと同じ機能です。
位置	拡大/縮小表示する部分を指定します。 プロジェクター本体のEズーム機能で、ターゲットスコープを移動 して拡大や縮小をする部分を指定する機能と同じです。 ☞ 『取扱説明書』「Eズーム機能」
ズームキャンセル	Eズームを解除して元の表示に戻ります。
操作対象プロ ジェクター	操作対象のプロジェクター名を表示しています。 複数のプロジェクターに接続している場合は、Eズームの操作をす るプロジェクターを選択します。
閉じる	この画面を閉じます。

基本設定

「基本設定」アイコンをクリックすると、次の設定画面が表示され、明るさ、コントラスト、カラーモードの調整ができます。

る

明るさ |

<u> 明63</u>	⊸●─── 閉じ
- +	
コントラスト	操作対象プロジェクター
- + カラーモード	PROJECTOR
?!!!!\%♀₽?!!!!!	/ 🛶 切断 🛑 🚍

ー ー ー ー ー ー コントラスト カラーモード 操作対象プロジェクター

明るさ	投写映像の明るさを調整します。 「+」ボタン:明るくなる 「-」ボタン:暗くなる
コントラスト	画面の明暗の差を調整します。 「+」ボタン:明暗の差が大きくなる 「−」ボタン:明暗の差が小さくなる
カラーモード	リモコンの[カラーモード]ボタンと同じ機能です。 [カラーモード]ボタンをクリックするたびに、以下のように設定が 切り替わります。
操作対象プロ ジェクター	操作対象のプロジェクター名を表示しています。複数のプロジェク ターに接続している場合は、基本設定を行うプロジェクターを選択 します。
閉じる	この画面を閉じます。

接続したいプロジェクターが表示されないときは

接続したいプロジェクターがEMP NS Connectionのプロジェクター選択画面 に表示されない場合は、次の点を確認してください。

- 無線LAN接続の場合、電波が届かないか、弱くありませんか?
- 接続モードを正しく設定していますか?
- サブネットが異なっていませんか?

サブネットが異なるネットワーク上のプロジェクターに接続する場合は、「IP 指定接続モード」を使うと接続できます。IP指定接続モードは、接続したいプ ロジェクターの<u>IPアドレス</u>→を指定して接続する方法です。

Windowsで、簡単接続モードの場合は、次の点も確認してください。

- ESSID[▶]自動検索が無効になっていませんか? (Windows 2000/XPのみ)

 『EasyMPネットワーク設定ガイド』「コンピュータの無線LANを設定する」
- コンピュータの無線LANドライバがNDIS5.1に対応していますか? (Windows 2000/XPのみ)
- 以下の場合、コンピュータ側で使用している ESSID(ネットワーク名)がプロ ジェクター側のESSIDと同じ名前になっていますか?
 - ・Windows 98/MEの場合
 - ・ESSID自動検索を無効にしている場合

Macintoshの場合は、次の点も確認してください。

- ネットワークの状態が正しいですか?
 - ・簡単接続モードの場合、「AirMac:入」を選択し、適切なプロジェクターの ESSID名を選択していますか?
 - アクセスポイントモードの場合、「AirMac:入」を選択し、適切なアクセスポイントを選択していますか?
 - ・有線LANモードの場合、「AirMac:切」を選択していますか?

 ・『EasyMPネットワーク設定ガイド』「コンピュータでEMP NS Connectionを起動する」

IP アドレスを指定して接続

次の手順で、IP指定接続モードの接続をします。 以降の説明では、断りのない限りWindowsの画面を載せています。 Macintoshでも同等の画面が表示されます。



操作

プロジェクターをEasyMP待機画面にします。 ・『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「プロジェクターを接続待機状態 にする」

- 2 コンピュータで、EMP NS Connectionを起動します。

 ・ 『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「コンピュータでEMP NS Connectionを起動する」の手順1~3
- 3 次の画面で、「拡張機能」ボタンをクリックします。



4 「IP指定接続を使用する」をクリックしてチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックします。

拁	張機能
	▶ 暗号化通信を使う
	暗号化処理を行うとセキュリティは確保できますが、
	表示速度が遅くなります。
	2
(↓ アビ定接続を使用する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	接続グループ:
	グループを選択してください。
	プロジェクターのIPアドレスを指定して接続したり、
	グループを作成しておくことができます。
	3
	☞ ESSID 自動検索を使う
	ESSIDを固定したい場合には、チェックを外してください。コンピュータの設定で抽想します。
	□ NS Protect 機能を使う (アドホックモードのみ)
	NS ProtectIは、無線接続されたコンピュータを不正アクセスから 保護します。アブリケーションによっては追想に不具合を生じる ことがあります。
	3
	LAN切替 OK キャンセル

5 以下の画面が表示されます。画面の右上に表示されている「IP指定接続」を クリックします。

S EMP NS Connection	_	X
自動検索モード		
ネットワーク上にプロジェクターが見つかりませんでした。 ヘルプを参照して対処してください。		
	?	
	~	
拉張機能		
	ί	00

6「IPアドレス」に接続したいプロジェクターのIPアドレスを入力し、「検索」 ボタンをクリックします。

EMP NS Connection		
IP指定接続モード	自動検索	1.0
IPアドレスを入力してください。		
		3
P7/12: 192, 168, 0	, 30 検索	\supset
登録ブロジェクター:		
		4
		\mathbf{N}
拉張機能		
		続

7 IPアドレスが「登録プロジェクター」に追加され、検索中であることを示す アイコンが表示されます。プロジェクターが見つかると、「登録プロジェク ター」にプロジェクター名が表示されます。さらにプロジェクターを検索 したい場合は、手順6を繰り返します。

検索したプロジェクターは、「登録プロジェクター」に追加されていきます。





- 最大16台までプロジェクターを追加できます。17台以上追加すると、最初に追加したものから削除されます。接続できるプロジェクターの台数は 最大4台までです。
- EMP NS Connectionを終了して次回起動したときは、「登録プロジェク ター」に追加したプロジェクターは消去されています。次回以降も同じプロ ジェクターを表示したい場合は、グループを作成して目的のプロジェク ターを登録してください。 (● p.11)

8 接続先のプロジェクター名をクリックしてチェックマークを付け、「接続」 ボタンをクリックします。

コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続され、コン ピュータの画面がプロジェクターから投写されます。





• 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。

グループを作成して接続

頻繁にネットワーク経由で接続するプロジェクターをグループにして登録でき ます。EMP NS Connectionでは最大16台までのプロジェクターを1つのグ ループに登録できます。

例えば、支店ごとにネットワーク接続したプロジェクターがある環境で、特定の エリアにある支店のプロジェクターに投写したい場合は、エリア内の支店のプ ロジェクターを1つのグループに登録しておきます。一度グループに登録すれ ば、接続時にグループを指定するだけで目的の支店のプロジェクターと接続で きるため、接続のたびにプロジェクターを1つずつ検索する手間を省けます。

グループ情報はファイルへの書き出し(エクスポート)と読み込み(インポート) ができます。ネットワーク管理者が作成しエクスポートしたグループから、必要 に応じて接続したいグループをインポートすれば、簡単に目的のプロジェクター と接続できます。

グループの作成

次の手順でグループを作成します。

操作

1 「IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの 拡張機能画面を表示します。 ● p.8 **2** 「IP指定接続を使用する」と「グループ一覧を使用する」をクリックして チェックマークを付け、「詳細設定」ボタンをクリックします。



3 グループ詳細設定画面が表示されます。グループを新規作成する場合は 「新規追加」ボタンをクリックします。

「接続グループ」に「New Group」(Windows)または「新規グループ」 (Macintosh)と表示され、「IPアドレス」と登録プロジェクターの一覧が消 去されます。





 既存のグループに登録されているプロジェクターを変更する場合は、「接続 グループ」でグループ名を選択し、手順5に進みます。

グレーブ作成中または編集中に「新規追加」ボタンをクリックすると、「編集中のグループが登録されていません。登録しますか?」 (Windows)、または「グルーブの変更内容を保存しますか?保存しないと、変更内容は失われます。」(Macintosh)というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると作業中のグループは保存されます。 「いいえ」ボタンをクリックすると作業中のグループは保存されずに破棄されます。

▲「接続グループ」にグループ名を入力します。

グループ詳細設定	×
ネットワーク上のブロジェクターのIPアドレスを指定して、最大16台までのグルーブを作成できます。	
	3
接続グループ: グループ1 所規追加	
正知られてよう IPアドレス:	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 I
エク7%ポート 保存 別 縦 目	閉じる

5 「IPアドレス」に登録したいプロジェクターのIPアドレスを入力し、「追加>」 ボタンをクリックします。

アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。





[0.0.0.0][127.x.x.x][224.0.0.0~255.255.255.255]は使用できませ ん(xは0~255の数字)。

6 IPアドレスが登録プロジェクター一覧に追加され、検索中であることを示す アイコンが表示されます。プロジェクターが見つかると、一覧にプロジェク ター名が表示されます。さらにプロジェクターを登録したい場合は、手順5 を繰り返します。

登録したプロジェクターは、一覧に追加されていきます。



アイコンの色と形で状態を示しています。

🗐 :未接続

🔤:他のコンピュータと接続中

🕘:現在検索中

🔟:検索したが見つからなかったもの

- ク 1グループに最大16台までプロジェクターを追加できます。実際に接続
 グ できるプロジェクターの台数は最大4台までです。
- ポイント

 追加したプロジェクターを一覧から削除したい場合は、削除したいプロジェクターを選択して「<削除」ボタンをクリックします。

7 登録したいプロジェクターをすべて一覧に追加したら、「保存」ボタンをク リックします。「グループを保存します。よろしいですか?」というメッ セージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

グループが保存されます。

メッセージ画面で「いいえ」ボタンをクリックすると、グループは保存されません。



8「閉じる」ボタンをクリックします。

グループ詳細設定画面を閉じ、拡張機能画面に戻ります。



グループを削除したい場合は、グループ設定画面の「接続グループ」で削除したいグループを選択し、「削除」ボタンをクリックします。

グループを使用して接続

次の手順で、グループに登録したプロジェクターに接続します。 「グループの作成」でグループを作成し、引き続きこの手順を実行する場合は、手順3から始めてください。

操作

- 1 「IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの 拡張機能画面を表示します。 ● p.8
- **2**「IP指定接続を使用する」と「グループ一覧を使用する」をクリックして チェックマークを付けます。

拢	張根	業能	×
	◄	暗号化通信を使う	
		暗号化処理を行うとセキュリティは確保できますが、	
		表示速度が遅くなります。	
		3)
1	Ē		
l		川倉正接航空に定用する 2011年)二階条準囲また	
1	÷		
		接続クルーフ:	
		クルーフを選択してくたさい。	
		ブロジェクターのIPアドレスを指定して接続したり、	
		グループを作成しておくことができます。	
		(?)
		ESSID 自動検索を使う	
		ESSIDを固定したい場合には、チェックを外してください。コンピ	
		ユータの設定で接続します。	
	Г	NS Protect 機能を使う (アドホックモードのみ)	
		NS Protectia、無線接続されたコンピュータを不正アクセスから	
		「保護します。アプリケーションによっては通信に不具合を生じる ことがあります。	
		()
			2
		LAN切替 OK キャンセル	

3 「接続グループ」で接続したいグループを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



4 以下の画面が表示された場合は、画面の右上に表示されている「IP指定接続」 をクリックします。

画面の左上に「IP指定接続モード」と表示されている場合は、何もせずに手順5に進みます。



プロジェクター名は、プロジェクターのEasyMP待機画面に表示されています。



− アイコンの色と形で状態を示しています。
 ≦:未接続
 ≦:他のコンピュータと接続中
 試在検索中
 説:検索したが見つからなかったもの

- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターを選択した場合は、先に接続していたコンピュータを自動的に切断し、後から接続したコンピュータの
 ポイント 映像を投写します。
 - 複数のプロジェクターを選択すると、1台のコンピュータの映像を複数の プロジェクターで投写できます。1台のコンピュータの映像を同時に投写 できるプロジェクターの台数は、最大4台までです。
 - 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。

コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続され、コンピュー タの画面がプロジェクターから投写されます。

グループのエクスポート(書出し)

次の手順でグループをエクスポートします。

「接続グループ」のリストにあるすべてのグループをエクスポートします。
 特定のグループのみをエクスポートすることはできません。
 グループをエクスポートする前に、最低1つはグループを作成して保存しておいてください。● p.11
 グループ作成中または編集中は、エクスポートできません。

操作

- **1** 「グループの作成」の手順1、2を実行し、グループ詳細設定画面を表示します。 ● p.11
- **2** 「エクスポート」(Windows)、または「書出し」(Macintosh) ボタンをクリッ クします。



3 表示された画面で、エクスポート先のフォルダを選択してファイル名を指定し、「保存」ボタンをクリックします。

指定したファイル名でグループがエクスポートされます。





操作

- 1 「グループの作成」の手順1、2を実行し、グループ詳細設定画面を表示します。 ● p.11
- **2**「インポート」(Windows)、または「読込み」(Macintosh) ボタンをクリック します。

×
Ø

3表示された画面で、インポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

グループがインポートされ、「接続グループ」のリストにインポートしたグ ループ名が追加されます。

グループ詳細設定			X
ネットワーク上のブロジェクターのIPアドレスを	皆定して、最大16台までの	のグループを作成できます。	
			3
接続グループ: グループ3 登録プロジェクター		▼ 新規追加	
IPアドレス: ・・・・ 道知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Tsuruni-8 Yokosuka-1 Kawasaki-2 Yokohana-7	217.106.145.115 217.106.145.94 217.106.145.122 217.106.145.67	1
インボート エクスポート	{ ¥ :	存 削除	開いる



インポートしたグループに登録されたプロジェクターに接続したい場合は、「グ ループを使用して接続」の手順3~5を実行してください。 ← p.15

無線LANのセキュリティ対策

無線LANでは、電波を利用してデータのやり取りを行うため、電波の届く範囲で あれば簡単に通信ができるという利点があります。

その反面、電波は壁などの障害物を越えてどこへでも届くため、セキュリティの 設定を行っていないと、特別なツールを使わなくても通信内容を傍受したり、 ネットワークに侵入したりできます。

この問題を防ぐために、次のセキュリティ機能が準備されています。

• データの暗号化

データを暗号化して送信します。データを傍受されても、解読されません。

- 接続の制限(認証)
 ユーザー名やパスワードをあらかじめ登録し、登録されている無線LAN端末 だけをネットワークに接続できるようにして、第三者がネットワークに接続 することを防ぎます。
- ファイアウォール
 使用しないポートを閉鎖することで、外部からの不正アクセスを防止します。

本機で使用できるセキュリティ機能は無線LANの接続モードによって異なります。

セキュリティの 種類	簡単接続モードでの セキュリティ対策	アクセスポイントモード でのセキュリティ対策 ^{※2}
暗号化	暗号化通信 🖝 p.22	<u>WEP</u> ♥, <u>WPA</u> ♥ (<u>TKIP</u> ♥) ☞ p.24
認証	-	WPA(ホームモード)、 <u>LEAP</u> ▶ ☞ p.24
ファイア ウォール	NS Protect ^{%1}	_

※1 Windows XP搭載のコンピュータと接続して使う場合にのみ使用できます。 ※2 接続先のアクセスポイントが同じ機能に対応している場合にのみ有効です。

簡単接続モードで暗号化通信したいとき

Network Screen実行時に、プロジェクターに送信するコンピュータ映像のデー タを暗号化することができます。データを暗号化すると、セキュリティが確保 されますが、通信速度は遅くなります。

以下の手順で、暗号化通信の設定をします。この設定は、1度行えば2回目以降は 操作する必要はありません。

操作

- 1 「IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの 拡張機能画面を表示します。 ● p.8
- **2**「暗号化通信を使う」をクリックしてチェックマークを付け、「OK」ボタンを クリックします。



簡単接続モード時に不正アクセスを防ぐ(NS Protect)

NS Protectは、Network Screen用のパーソナルファイアウォールです。 Network Screenの接続や制御に必要なポート以外のすべてのポートを閉鎖し て、外部からの不正アクセスを防止します。

NS Protectを利用するには、Windows XP搭載のコンピュータと接続して管理 者権限を持ったユーザーでログインします。管理者権限のないユーザーはこの 機能が使えません。

以下の手順でNS Protectを有効に設定します。この設定は、1度行えば2回目以降は操作する必要はありません。

操作

- 1 「IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの 拡張機能画面を表示します。 ● p.8
- **2** 「NS Protect機能を使う(アドホックモードのみ)」にチェックマークを 付け、「OK」ボタンをクリックします。

拁	張機能
	☞ 腊哥化通信を使う
	暗号化処理を行うとわまっリテノは確保できますが
	表示速度が遅くなります。
	3
	□ IP指定接続を使用する
	■ グループー覧を使用する
	接続グループ:
	グループを選択してください。 🔽 詳細設定
	ブロジェクターのIPアドレスを指定して接続したり、
	グループを作成しておくことができます。
	2
	C CCD 6346652/83
	▶ E0010 目影内見来ではてう
	ESSIDを固定したい場合には、チェックを外してください。コンピュータの設定で提供します。
(▼ N Protect 機能を使う (アドホックモードのみ)
	S Protectla、無線接続されたコンピュータを不正アクセスから
	「孫族しより。アフリケーションによっては週目に小具営を生しる」
	0
	LAN切替 OK チャンセル

無線LANアクセスポイントモードで暗号化方式・認証方式を 設定する

無線LANアクセスポイントモードで、Network Screenを行うときに使用する 暗号化方式・認証方式を次の中から1つ選択できます。

• WEP

暗号キー(WEPキー)を使ってデータの暗号化を行います。 アクセスポイントとプロジェクター間で、暗号キーが一致しないと通信でき ない仕組みです。

• WPA

WEPの弱点を補強しセキュリティ強度を向上させた暗号化規格です。WPA には数種類の暗号化方式がありますが、本機では「<u>TKIP</u>)」を使用します。 TKIPはPSKを使い、一定間隔で自動的に暗号キーを更新するので、暗号キー が固定値であるWEPに比べて暗号が解読されにくくなっています。 WPAは、ユーザー認証機能も備えています。WPAの認証方式には、認証サー パを使う方法と、認証サーバは使わずコンピュータとアクセスポイントの間 で認証を行う方法があります。本機は、認証サーバを使わない認証方法に対応しています。

• LEAP

独自のユーザー認証機能と暗号化機能を備えたシスコシステムズ社の無線 LANセキュリティ技術「<u>CCX</u>♥」で使用される認証方式のひとつです。 LEAPを使用するには、認証サーバ♥(<u>RADIUSサーバ</u>♥)が必要です。LEAP では電子証明書は使わず、パスワードで認証を行います。

- 各設定の作業は、参加するネットワークシステムの管理者の指示に従って 行ってください。
- ポイント LEAPを使用する場合、認証サーバに合わせた設定をプロジェクターで 行う必要があります。RADIUSサーバの設定については、ネットワークシ ステムの管理者にご確認ください。
 - Webブラウザからプロジェクターの設定・制御用ブラウザページにアクセスして、そのページ上でネットワーク設定をすることができます(EasyWeb)。
 EasyWebでは、キーボードを使って入力できるため、リモコンでの入力が面倒なときに便利です。 (一 p.74)

操作

- **1** プロジェクターのカードスロットに無線LANカードをセットします。
- 2 プロジェクターをEasyMP待機画面にします。 ← 『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「プロジェクターを接続待機状態 にする」
- **3** 画面右下の「環境設定」ボタンが選択されていることを確認し、リモコンの [Enter]ボタンを押します。



4 「無線LAN」-「基本設定」ボタンにカーソルを移動し、リモコンの[Enter] ボタンを押します。



5「アクセスポイントモード」にカーソルを移動し、リモコンの[Enter] ボタン を押します。

アクセスポイントモードが選択されます。



6

「無線LAN」-「セキュリティ」ボタンにカーソルを移動し、リモコンの[Enter] ボタンを押します。

EasyMP		キャンセル	ОК
Network Screen	课境設定/NetworkScreen/無線LAN/基本設定		
有線LAN 基本設定	簡単接続モード	• _{アンテナレベル}	
無線LAN 基本設定		-	
セキュリティ	プロジェクター名 ESSID(ネットワーク名)	EMP012345 EPSON	
ネットワーク	WEBコントロール用パスワード プロジェクターキーワード		
SNHP	DHCP機能	ON OFF	
Card Player	LIPアドレス サブネットマスク値	192.168.200.100 255.255.255.000	
オプション	ゲートウェイアドレス MACアドレス	192.168.200.001 00:00:00:00:00:00	
Biter 法定	→ 編択 ESC 戻る	日日日の	

7 セキュリティの「WEP」、「WPA」、「LEAP」から、使用する暗号化方式・認 証方式を選択します。

EasyMP			キャンセ	214	ОК
Network Screen	環境設定/NetworkScreen/無線LAN/	セキュリティ	ſ		
有線LAN	セキュリティ	O OF	WEP	O WPA	● LEAP
基本設定 無線LAN	WEP暗号	128Bit	64Bit		
基本設定	人 刀 万 式 キー I D	HEX 1	ASCII	• 3	• 4
セキュリティ	暗号キー1 暗号キー2				
メール	暗号キー 3				
SNHP	昭方ヤー4	-			
Card Player	PSK ユーザ名				
オプション	パスワード				1
Enter 決定	● 選択	ō [1日 最上段へ移動	ið	waxa



8 設定する項目にカーソルを移動し、各項目を設定します。

項目によっては文字や数値の入力が必要な場合があります。文字や数値の 入力方法は「文字や数値の入力方法」(← p.29)をご覧ください。

WEP

WEP [▶] 暗号	WEP暗号化の暗号方式を設定します。 「128bit」:128(104)bit暗号化を使用する 「64bit」:64(40)bit暗号化を使用する
入力方式	WEP暗号キーの入力方式を設定します。 「HEX」: HEX(16進)入力 「ASCII」: テキスト入力 テキストによるWEP暗号設定の方法は、アクセスポイントに より異なります。プロジェクターが参加するネットワークの 管理者に確認し、まず「ASCII」に設定してみてください。
≠—ID	WEP暗号IDキーを「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかから選択し ます。
暗号キー	WEP暗号に使用するキーを入力します。プロジェクターが 参加するネットワークの管理者の指示に従って、キーを半角 文字で入力します。「WEP暗号」と「入力方式」の設定により、 入力できる文字種・数が異なります。 下記でそれぞれ規制している文字数に満たなかった場合と、 文字数を超える部分は暗号化されません。 「128bit」-「HEX」の場合:0~9とA~F、26文字まで 「64bit」-「HEX」の場合:0~9とA~F、10文字まで 「128bit」-「ASCII」の場合:英数字、13文字まで 「64bit」-「ASCII」の場合:英数字、5文字まで

WPA

PSK	PreSharedKey(暗号キー)を半角英数字で入力します。
	8文字以上、最大64文字まで入力できます。
	PreSharedKeyを入力し、[Enter]ボタンで確定すると、設定値はア
	スタリスク(*)で表示されます。
	EasyMPの環境設定画面では32文字を超える入力はできません。
	EasyWebから設定すると、32文字を超える入力ができます。 🖝 p.74

※入力内容を変更するには、「クリア」ボタンを選択してリモコンの[Enter]ボタンを押し、 入力内容を消去してから再度入力します。

LEAP

ユーザ名	認証に使用するユーザ名を半角英数字で入力します(スペースは使用できません)。 最大64文字まで入力できます。 EasyMPの環境設定画面では32文字を超える入力はできません。 EasyWebから設定すると、32文字を超える入力ができます。 ● p.74
パスワード	認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。 最大64文字まで入力できます。 パスワードを入力し、[Enter]ボタンで確定すると、パスワードはア スタリスク(*)で表示されます。 EasyMPの環境設定画面では32文字を超える入力はできません。 EasyWebから設定すると、32文字を超える入力ができます。 ☞ p.74

※入力内容を変更するには、「クリア」ボタンを選択してリモコンの[Enter]ボタンを押し、 入力内容を消去してから再度入力します。

9 リモコンの[1]ボタンを押してカーソルを「OK」ボタンに移動し、[Enter] ボタンを押します。

EasyMP待機画面に戻ります。

文字や数値の入力方法

文字や数値を入力するには、次の手順で行います。

- 1. 入力する項目にカーソルを移動して、リモコンの [Enter] ボタンを押します。 カーソルが緑色になり、入力モードになります。
- 2. 数字のみを入力する場合は、リモコンの[数字]ボタンを押します。[数字]ボ タンが点灯し下図のボタンがテンキーモードになり数字が入力できるよう になります。また、文字が入力できる項目では、[ゆ]ボタンを押すとピリオ ド(.)を入力できます。 文字を入力する場合は、リモコンの[^①]ボタンを上に傾けると、A~Z→0~9

→記号→a~z→スペースの順で切り替わります。下に傾けると、逆順で切り 替わります。[①]を、傾けたままにするとキーリピートが働き、素早く目的 の文字を選択できます。



- 2 文字以上の文字や数字を入力する場合は、リモコンの[①]ボタンを右に傾 けます。1番目の文字や数字が決定し、2番目の入力位置へカーソルが移動 します。
- 4. 文字や数字をすべて入力したら、リモコンの [Enter] ボタンを押して入力を 確定します。カーソルが黄色に変わります。

ESSID自動検索を無効にする

Windows 2000/XPを使ったコンピュータでESSIDを固定したい場合は、 ESSID自動検索を無効にします。この設定は、1度行えば2回目以降は操作する 必要はありません。



操作

- 1 「IPアドレスを指定して接続」の手順1~3を実行し、EMP NS Connectionの 拡張機能画面を表示します。 ● p.8
- **2**「ESSID自動検索を使う」をクリックしてチェックマークを外し、「OK」 ボタンをクリックします。



プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使い方)

ここでは、シナリオの作成、転送方法について説明しています。

ノビューダレスでノレセンテーションするときの流れ	
シナリオに組み込めるファイル	34
シナリオの作成	36
 ●シナリオ作成の流れ	
● シナリオのプロパティを設定する	37
● PowerPoint ファイルをシナリオに組み込む	
●PowerPoint ファイル内の全スライドを組み込む	41
●サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを組み込む	42
● 画像や動画ファイルをシナリオに組み込む	43
● シナリオを編集する	45
●ファイルやスライドを追加する	45
●削除する	45
●順番を入れ替える	45
シナリオの転送	46
こんなときには	48
● シナリオの簡易作成	
● コンピュータ上でシナリオの投写状態を確認する	49
● アニメーションの設定を行う	51

コンピュータレスでプレゼンテーションするときの流れ

PowerPointファイルや画像・動画ファイルを組み合わせて、投写する順番に並べて1つのファイルとして保存したものを、本書では「シナリオ」と呼びます。シナリオはEMP SlideMaker2で作成します。

EMP SlideMaker2を使うと、元となるファイルを編集せずに、必要な部分を抽出、並び替えて、簡単に、そして効率的にプレゼンテーション資料を準備できます。



作成したシナリオは、コンピュータにセットしたメモリカードまたはUSBスト レージに転送します。そのメモリカードまたはUSBストレージをプロジェク ターにセット(または接続)して、プロジェクターに搭載のCardPlayerでシナリ オを投写します。

USBストレージの接続 ☞ 『取扱説明書』「USB機器(デジタルカメラ、ハード ディスク、メモリ)の接続」



EMP SlideMaker2はコンピュータにインストールして使います。 EMP SlideMaker2のインストール方法 ● 『EasyMP ネットワーク設定 ガイド』「コンピュータにEasyMP Softwareをインストールする」



シナリオに組み込めるファイル

シナリオとして、1つのファイルに組み合わせることができるファイルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
PowerPoint	.ppt	Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003
画像	.bmp	
	.jpg	バージョンを問いません。ただし、CMYK カラーモード形式、プログレッシブ形式の ものは再生できません。
動画	.mpg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720×576までで、 DVDと同じ(シーケンスヘッダがGOPごと に配置されている)形式でないと再生できま せん。 再生できる音声形式は、MPEG1レイヤー2 です。リニアPCMとAC-3は再生できませ ん。
音声	.Wav	PCM、22.05/44.1/48.0kHz、8/16ビット

5

● PowerPointの「スライドショー」メニューで設定した画面切り替えの効果

とアニメーションのうち、シナリオにも反映されるものは次のとおりです。

・スライドイン	・ブラインド	・ボックス		
・チェッカーワイプ	・クロール	・ディゾルブ		
・ピーク	・ランダムストライプ	・スパイラル		
・スプリット	・ストレッチ	・ストリップ		
・ターン	・ワイプ	・ズーム		

上記以外の画面切り替えの効果とアニメーションは「カット」に置き換えられます。

- 上記の表にある画像・動画ファイルをファイル単独で再生したい場合は、シ ナリオにする必要はありません。メモリカードやUSBストレージにファイ ルをそのまま保存したあとで、プロジェクターにセットすればCardPlayer 機能で直接再生して投写できます。 ● p.68
- 動画を再生する場合、使用するメモリカードは、コンパクトフラッシュカードまたはカード型のハードディスクドライブを推奨します。上記以外のメモリカードを使用すると、正しく再生できないことがあります。また、アクセス速度が遅いコンパクトフラッシュカードを使用すると、正しく再生されなかったり、音声が音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。
本機以外のプロジェクターの同梱ソフトで作成したシナリオについて、本機の EMP SlideMaker2で開くことができるものとできないものは次表のとおりで す。

プロジェクター	ソフト	本機のEMP SlideMaker2 で開く
EMP-7850 EMP-835 EMP-745 EMP-735	EMP SlideMaker2	0
ELP-8150/8150NL	EMP Scenario	×
ELP-715/505	EMP SlideMaker	×

シナリオの作成

シナリオを作成する前に、次の点を確認してください。

- PowerPoint、画像・動画などの組み合わせるデータは、あらかじめ作成して おきます。
- 前述の「シナリオに組み込めるファイル」に記載されているファイル以外は使用できません。

シナリオ作成の流れ

シナリオの作成は、次の流れで行います。

EMP SlideMaker2を起動し、シナリオのプロパティ (シナリオ名や背景色、画質など)を設定します。 ← p.37



組み込んだファイルの順番を入れ換えるなどして、シナリオ を完成させます。 ● p.45



シナリオのプロパティを設定する

操作

1 コンピュータでWindowsを起動し、「スタート」-「プログラム」(または「すべてのプログラム」)-「EPSON Projector」-「EMP SlideMaker2」の順に選択します。

EMP SlideMaker2 が起動し、シナリオのプロパティが表示されます。

2 次の表を参照して各項目を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



シナリオ名	作成するシナリオのファイル名を入力します。必ず入力してく ださい。アルファベットの大文字と数字を8文字まで入力でき ます。次項の作業用フォルダのディレクトリ名と合わせて127 文字以内になるようにしてください。
作業用フォルダ	シナリオ作成時の作業用フォルダをどこに作成するかを指定します。 す。なお、作業用フォルダ名はシナリオ名と同名になります。
BGMを設定す る	シナリオ再生中にBGMを流したいときにチェックマークを付け ます。チェックマークを付けると、音声ファイル(WAVE形式)を 選択する画面が表示されます。この画面で、BGMとして使用す るファイルを選択します。 音声ファイル選択後、右側の「▶」ボタンをクリックすると、選択 した音声ファイルが再生されます。 「■」ボタンをクリックすると再生を停止します。
背景色	シナリオ中の画像データの背景を選択します。

画質	EMP SlideMaker2ではPowerPointファイルの各スライドが
	JPEGファイルに変換されて保存されます。この項目では、
	JPEGファイルに変換されるときの画質を選択します。
	「最高画質」、「高画質」、「標準」の順に高画質で保存されます。「標
	準」に設定した場合は、他に比べて画質が粗くなります。「最高画
	質」、「高画質」を選択することをお勧めします。
	なお、シナリオに直接JPEGファイルを組み込んだ場合は、この
	項目の設定にかかわらず、元のJPEGファイルの画質がそのまま
	適用されます。



設定した内容は、EMP SlideMaker2の「ファイル」-「プロパティ」で変更で きます。

3 次の画面が表示されます。



フォルダウィンドウで選択したフォルダ内のファイルが表示されます。



EMP SlideMaker2の各メニューの機能については、EMP SlideMaker2の ヘルプをご覧ください。

PowerPointファイルをシナリオに組み込む

PowerPointファイルは、次の2通りの方法でシナリオに組み込むことができます。

- PowerPointファイル内の全スライドを組み込む p.41
- サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを組み込む p.42

PowerPointファイル内の全スライドを組み込んだ場合、シナリオに組み込んだ あともPowerPointで設定したアニメーションが保持され、CardPlayerで投写 する際にアニメーションが有効に働きます。

必要なスライドだけを組み込んだ場合は、PowerPointで設定したアニメーションはすべて無効となります。



アニメーションを保持しているスライドは、シナリオウィンドウのセルに 「.EMA」と表示されます。「.EMA」と表示されたセルをクリックすると、アニ メーションの各動作がアニメーション確認ウィンドウに表示されます。 アニメーションを保持していないスライドはセルに「.JPG」と表示されます。

ENP SideMaker2 - Cophysiciat 7rGAD 編集の 表示の うりうゆ シナリオロ	াত্র গাংহ খগত বিধিয়ার জা	3
オペモのファイル	CospectDait EICIX	
19 - 男 イインパン-3 19 - 一 2015年5000 - 一 2017-70-72 19 - ひとののののののののののののののののののののののののののののののののののの	No. 364. 77/3-6.	JPG:PowerPointでのアニメーション設
		定か無効になったセル
	3 000 SLEDODOZEMA	FMA:PowerPointでのアニメーション設
278/07-10		定を保持しているセル
Ny Pictures Field001brep Bield1ppt	0 - 484 197 50 2 - 48	
000000000000000000000000000000000000	•••••	アニメーション確認ウィンドウ
10°4		

シナリオの作成



- お使いのコンピュータにPowerPointがインストールされていない場合は、 サムネイルを表示することはできません。
 アニメーションは、EMP SlideMaker2のプロパティ画面でも設定できま
- アニメージョンは、EMP SildeMaker2のフロバティ画面でも設定できま すが、あらかじめPowerPointで設定したアニメーションの方が、シナリオ 再生時の動作がなめらかです。PowerPointのスライドにアニメーション を設定したい場合は、PowerPointで設定することをお薦めします。画像 にアニメーションを設定したい場合や、設定したアニメーションを保持せ ずに、シナリオに組み込んだスライドにアニメーションを設定したい場合 は、EMP SlideMaker2のプロパティ画面で設定してください。
 - PowerPointで設定できるアニメーションで、以下のアニメーションは シナリオにも反映されます。

・スライドイン	・ブラインド	・ボックス
・チェッカーワイプ	・クロール	・ディゾルブ
・ピーク	・ランダムストライプ	・スパイラル
・スプリット	・ストレッチ	・ストリップ
・ターン	・ワイプ	・ズーム
上記以外のアニメージ	ションは「カット」に置き	換えられます。

PowerPointファイル内の全スライドを組み込む

PowerPointファイル内の全スライドをまとめてシナリオに組み込むには、次の 手順で行います。この方法で組み込むと、シナリオに組み込んだあとも、 PowerPointで設定したアニメーションがそのまま有効になります。

↓ 1つのPowerPointのファイルをそのまま1つのシナリオにする場合は、シナ リオの簡易作成で行うこともできます。 ● p.48

操作

1 ファイルウィンドウで目的のPowerPointファイルアイコンをダブルクリックします。

—	フォルダウィンドウ	
EMP SlideMaker2 - Caplan .sit		
すべてのファイル	Gopladilait	シナリオウィンドウ
8 5 77 275-5 6 5 27 175-5 1 18400 − 375-75-x 8 5 Internet Explorer	360 888 2×1146	
8-32 (MA-2 T22-3	2 SUECOODI EMA	
	a SUEDODIZENA	
74.64-55		
- 15 12 4 2 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1		
v #1 ● Pore #2 v #1 v #1		
サムネィ	イルウィンドウ	
ファイルウィン	ノドウ	

2 メッセージを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

自動的にスライドショーが実行されます。

スライドショーの途中でキーボードの[Esc]キーを押すと、スライドショー が中止されます。その場合、実行済みのスライドだけがシナリオに組み込 まれます。



PowerPointファイルの容量が大きい場合は、シナリオの組み込みが終了するまでに時間がかかります。

3 スライドショーが終了したら、画面をクリックします。 ファイル内の全スライドがシナリオに組み込まれ、シナリオウィンドウに 表示されます。

サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを組み込む

PowerPointファイルから必要なスライドだけを選んでシナリオにするには、次の手順で組み込みます。ただし、この方法で組み込むと、PowerPointで設定したアニメーションが無効になります。

操作

- **1** ファイルウィンドウで目的の PowerPoint ファイルアイコンをクリックします。
- 2 シナリオに組み込むサムネイルをダブルクリックします。 目的のスライドがシナリオウィンドウに表示されます。

3 複数のスライドを選択して一度に組み込むには、サムネイルウィンドウで、 追加したいスライドを順次クリックしていきます。 クリックしたスライドはすべて選択されます。 選択したスライドをもう1度クリックすると、選択が解除されます。

4 追加したいスライドをすべて選択したら、選択したスライドの1つをシナリ オウィンドウの追加したい場所にドラッグ&ドロップします。 選択したスライドがすべてシナリオに追加されます。

画像や動画ファイルをシナリオに組み込む

画像ファイルや動画ファイルをシナリオに組み込みます。

	- フォルダウィンドウ	
ENP SlideNakor2 - Ouplan .sit		
7+(ME) 編集(E) 表示(J) 9(9(M) ジナリオ体 D(G2)ロ[V(D5)(F) (24)	malalel	
8-3 7(245-9	No. 201 7r1AG	
	1 DOSDOOUL/PG	
-	2 SUBTOOL IMA	
	3	
サムネー	イルウィンドウ	
」 ファイルウィン	ノドウ	



フォルダウィンドウで、目的のフォルダをクリックします。 ファイルウィンドウにフォルダ内のファイルが一覧で表示されます。

- 2 ファイルウィンドウでファイルアイコンをクリックします。 画像ファイルの内容がサムネイルウィンドウに表示されます。 動画ファイルの場合は、アイコンがサムネイルウィンドウに表示されます。
- **3** ファイルウィンドウで、目的のファイルアイコンをダブルクリックします。 選択したファイルがシナリオウィンドウ内に表示され、シナリオに組み込まれます。

4 ファイルを追加するには、目的のファイルをシナリオウィンドウにドラッグ&ドロップします。



5 複数のファイルを追加するには、キーボードの [Ctrl] キーを押したまま、追加したいファイルアイコンを順次クリックします。追加したいファイルをすべて選択したら、選択したファイルの1つをシナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ&ドロップします。 選択したファイルがすべてシナリオに追加されます。



シナリオを編集する

スライドやファイルを追加、削除したり順番を入れ替えたりしてシナリオを編 集できます。

シナリオウィンドウに表示されている内容は、プロジェクターのCardPlayerで 投写したとき、上から順番に投写されます。

ファイルやスライドを追加する

操作

ファイルウィンドウに表示されているファイルや、サムネイルウィンドウに表 示されているPowerPointのスライドを、シナリオウィンドウの追加したい場 所にドラッグ&ドロップします。

削除する

操作

削除したいセルでマウスを右クリックし、表示されたメニュー(ショートカット メニュー)で「切り取り」を選択します。

順番を入れ替える

操作

移動したいセルをシナリオウィンドウ内でドラッグ&ドロップして入れ替えま す。または、ショートカットメニューを表示し、「切り取り」を選択後、「貼り付け」 を実行して入れ替えます。

シナリオの転送

作成したシナリオをプロジェクターで投写するには、EMP SlideMaker2の「シ ナリオ転送」でメモリカードやUSBストレージにシナリオを転送します。

転送先には、以下のいずれかを指定します。

- コンピュータのカードドライブにセットしているメモリカード
- コンピュータのUSB端子に接続しているハードディスクまたはUSBメモリ

シナリオをプロジェクター起動時に自動的に投写したり、繰り返して投写する ように設定することもできます。自動的に投写する機能を「オートラン」といい ます。



 保存を行わずに「シナリオ転送」を実行した場合は、作業用フォルダ内にも 「シナリオ名.sit」というファイルとシナリオ名と同名のフォルダが作られ、 そこに各画面が画質の設定に応じた画像ファイルに変換され、保存されま す。

操作

- シナリオが完成したら、メモリカードまたは USB ストレージをコンピュー タにセットして「シナリオ操作」-「シナリオ転送」を選択します。
- 2 転送先のドライブを指定するダイアログボックスが表示されます。メモリ カードまたはUSBストレージがセットされているドライブを選択して 「OK」ボタンをクリックします。

シナリオ転送	×
転送先のドライブを灌択してください。	
ドライブ (2): 🗖 リムーバブル ディスク (0) 💌	
OK キャンセル	

3 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。 シナリオが選択したドライプに転送されます。 4 転送が終了すると、オートランの設定を行うか確認するメッセージが表示 されます。オートランの設定をする場合は、「OK」ボタンをクリックして次 の手順に進みます。設定をしない場合は、「キャンセル」ボタンをクリック すると終了します。

EMP SlideMaker2	×
転送したシナリオをオー	・トラン編集しますか?
OK	キャンセル

5 左側のシナリオファイルリストに、転送先ドライブ内のすべてのシナリオファイルが表示されます。

オートラン編集	×
ドライブ (1): ヨリムーバブル ディスク	□ 繰り返し実行(B):
シナリオファイルリスト(匠): オ・	ートランシナリオファイルリスト(<u>A</u>):
CMPLANET SIT	
OK	++)UU

オートランを行う場合

ポイント

プロジェクターの電源を入れたときに、シナリオを自動投写する場合は、シ ナリオファイルリストで目的のシナリオ名をクリックして、「>>>」ボタンを クリックします。右側のオートランシナリオファイルリストにシナリオが 表示され、オートランファイルとして設定されます。

シナリオを繰り返し投写する場合

「オートランシナリオファイルリスト」に登録したシナリオの投写終了後、 自動的に最初から投写し直す場合は、「繰り返し実行」にチェックマークを 付けます。

- オートランの設定は、「シナリオ操作」-「オートラン編集」を選択しても実 行できます。
 - オートランの設定はEasyMPのCardPlayerでは指定できません。
 - オートランに設定したファイルが2つ以上ある場合は、オートランシナリ オファイルリストの上から順に再生されます。
- 6 シナリオを転送したメモリカードまたはUSBストレージをプロジェクター にセットまたは接続してCardPlayerで投写します。 ● p.62

こんなときには

シナリオの簡易作成

PowerPointの1つのファイルをそのままシナリオにする場合は、PowerPoint ファイルのアイコンを、デスクトップ上のEMP SlideMaker2のプログラムアイ コン上へドラッグ&ドロップします。



自動的にスライドショーが実行され、シナリオが作成されます。 スライドショーの途中でキーボードの[Esc]キーを押すと、スライドショーが中 止されます。その場合、実行済みのスライドだけがシナリオに組み込まれま す。

\sim	● EMP SlideMaker2起	助中はシナリオの簡易作成は	できません。
[Y]	EMP SlideMaker2を約	冬了してから実行してくださ	こ <u></u>
ポイント	 PowerPointファイルの)容量が大きい場合は、シナリ	リオの組み込みが終了
	するまでに時間がかかり	ます。	
	 作成されたシナリオには 	、「Scnxxxx (xxxx は数字)という名前が付きま
	す。シナリオの画質は「	標準 に設定されます。 画質	は、「ファイル」-「プロ
	パティーを選択して表示	されるシナリオ設定ダイア	ログボックスで変更で
	きます。画質についての)詳細 ● p.38	
	 PowerPointのファイル 	を複数選択してEMP Slide	Maker2のプログラ
	ムアイコンヘドラッグ&	、ドロップした場合、マウス	カーソルが指している
	アイコンのファイルだけ	がシナリオになります。	
	● シナリオの簡易作成を実	行した場合、PowerPointの	ファイルにあるすべて
	のスライドからシナリオ	を作成します。投写したく	ないスライドがある場
	合は、該当のセルを右クリ	リックして「非表示」を選択し	ます。
	 ● PowerPointで設定でき 	るアニメーションで、次のフ	アニメーションはシナ
	リオにも反映されます。		
	・スライドイン	・ブラインド	・ボックス
	・チェッカーワイプ	・クロール	・ディゾルブ
	・ピーク	・ランダムストライプ	・スパイラル
	・スプリット	・ストレッチ	・ストリップ
	・ターン	・ワイプ	・ズーム
	上記以外のアニメーショ	ンは「カット」に置き換えら	れます。

コンピュータ上でシナリオの投写状態を確認する

作成したシナリオが、プロジェクターのCardPlayerでどのように再生されるか を、コンピュータ上で確認できます。画像、アニメーション効果、BGMなどシナ リオの構成要素をすべて再生します。

操作



2「シナリオ操作」−「シナリオプレビュー」を選択します。

EMP SlideMaker2 - Omplan01.xit			
77(AE) 編集E) 表示(A) りいりり(A)	シナリオ物作(2) ヘルアプロシ		
	シナリオ転送(S). ?		
オペモのファイル	オートラン編集(A). Lott		
0.3 7(205-9	97987061-0 k	27())名	
	1 -	DCSD0000.JPG	
E 2 247-7 1/2-9	1923	·	



3 シナリオプレビュー画面が表示されます。



🔲 停止	再生を中止し、一番前のスライドに戻ります。
🕛 一時停止	シナリオ動作が「自動」に設定されているスライドを一時停止し ます。 ☞ p.52
▶ 再生	シナリオプレビューを開始します。また、停止または一時停止 しているシナリオを再開します。シナリオ動作が「手動」に設定 されている場合は、次のスライドを表示します。 🖝 p.52
<u> </u> 巻き戻し	現在表示しているスライドの1つ前のスライドまたはアニメー ション実行前の画面に戻ります。戻る際はアニメーション効果 は実行されません。
1992日 早送り	現在表示しているスライドの1つ先のスライドまたはアニメー ション実行後の画面に進みます。このときアニメーション効果 は実行されません。
🐠 ボリューム	Volume Controlを起動します。BGMの音の大きさを調整できます。
進行状況バー	シナリオの進行状況をバーで表示します。開始時はバーの表示 はなく、進行するにしたがって左から右にバーが伸びていきま す。一番右までバーが達すると終了です。

4 確認し終わったら、画面右上の「 図 」ボタンをクリックしてシナリオプレ ビュー画面を閉じます。

アニメーションの設定を行う

EMP SlideMaker2では、PowerPointのアニメーション効果と同様の効果をシ ナリオ内の各セルに設定できます。PowerPointで設定したアニメーションを 保持しているスライドは、分割されたコマごとに投写時間やアニメーションを 設定して投写することができます。この場合は、アニメーション確認ウィンド ウで目的のアニメーションを右クリックして「セルのプロパティ」をクリックし ます。



あらかじめPowerPointでアニメーションを設定したファイルをシナリオに 組み込んだ方が、シナリオ再生時のアニメーションの動作がなめらかです。 PowerPointのスライドにアニメーションを設定したい場合は、PowerPoint で設定することをお勧めします。画像ファイルにアニメーションを設定した い場合や、設定したアニメーションを保持せずに、シナリオに組み込んだスラ イドにアニメーションを設定したい場合は、ここで説明している方法で設定し ます。

操作

1 目的のセル、またはアニメーションで右クリックし、「セルのプロパティ」を選択します。

複数のセル、またはアニメーションに同じ設定をする場合は、キーボードの [Shift]キー、または[Ctrl]キーを押したままクリックして複数のセルを選択 してから、右クリックして「セルのプロパティ」を選択します。



プロパティ画面が表示されます。次の表を参照して項目を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

フロパティ セル情報 参照ファイル	DCSD0000.JPG	
- シナリオ動作 ○ 手動(型): ○ 自動(<u>A</u>):	0K	×

シナリオ動作	「自動」を選択した場合は、切り替える時間を0秒から1800秒の 間で設定できます。「手動」にした場合は、投写時にリモコンの [・]または[・]ボタンを押して切り替えます。
アニメーション 効果	投写中に画面を切り替えるときの効果を指定できます。 選択したアニメーションによっては、「方向」を選択します。 効果の一例を次に示します。 スライドイン:指定した方向から画面を切り替えます。 ボックスワイプイン:内側から画面を切り替えます。

プレゼンテーションの実行 (CardPlayerの使い方)

ここでは、EMP SlideMaker2で転送したシナリオと、画像・動画ファ イルをプロジェクターで投写する操作を説明します。

CardPlayer で投写できるファイル	54
CardPlayer の使用方法	55
 ● CardPlayer の起動方法	55
● CardPlayer の終了方法	57
● CardPlayer の基本操作	58
●Easy メニューの操作方法(ガイドモード)	
●クイックモードでの操作方法	60
 ● 画像を回転する 	61
シナリオの投写	62
● シナリオの再生	62
● プレゼンテーション中の操作	63
● シナリオからスライドを選んで投写する	64
● シナリオの編集	66
画像・動画ファイルの投写	68
● 画像・動画を投写する	68
● フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に投写する (スライドショー)	69
画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する	71

CardPlayerで投写できるファイル

CardPlayerで投写できるファイルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
シナリオ	.sit	シナリオ転送で作成されたシナリオファイルです。 シナリオ作成時にでBGM設定した音声(.wav)も再生で きます。 EMP-7850/835/745、ELP-735/715/505に添付の EMP SlideMakerで作成したシナリオも投写できます。
画像	.bmp	24ビットカラーのもののみ投写できます。
	.gif	解像度が1024×768を超えるものは投写できません。
	.jpg	バージョンを問いません。ただし、CMYKカラーモード 形式、プログレッシブ形式、解像度が2560×1920を超 えるものは投写できません。
	.png	解像度が2560×1920を超えるものは投写できません。
動画	.mpg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720×576までで、DVDと同じ (シーケンスヘッダがGOPごとに配置されている)形式 でないと再生できません。 再生できる音声形式は、MPEG1レイヤー2です。リニ アPCMとAC-3は再生できません。
<u>DPOF</u> ►	.mrk	DPOFのバージョンが1.10で、ファイル名が AUTPLAYx.mrk(xは0~9の数字)のもののみ投写でき ます。



 拡張子が「.jpeg」のJPEGファイルと「.mpeg」のMPEGファイルは投写で きません。

- **ポイント** JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。
 - 動画を再生する場合、使用するメモリカードは、コンパクトフラッシュカードまたはカード型のハードディスクドライブを推奨します。上記以外のメモリカードを使用すると、正しく再生できないことがあります。また、アクセス速度が遅いコンパクトフラッシュカードや、USBストレージ(高ビットレート再生のとき)を使用すると、正しく再生されなかったり、音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。

CardPlayerの使用方法

CardPlayerでは、デジタルカメラの画像ファイルや、メモリカード・USBスト レージ内のシナリオ・画像・動画ファイルを再生し、投写できます。 ここでは、CardPlayerの基本的な使用方法について説明します。

CardPlayerの起動方法

操作

- ┫ リモコンの[電源]ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。
- **2** 以下のいずれかの操作を行います。
 - プロジェクターのカードスロットにメモリカードをセットします。

 ・
 ・
 『取扱説明書』「カードのセットと取り出し」
 - プロジェクターの[USB TypeA]端子に、デジタルカメラまたはUSBストレージを接続し、電源を入れます。

● 『取扱説明書』「USB機器(デジタルカメラ、ハードディスク、メモリ)の接続」

3 リモコンの [EasyMP] ボタンを押して投写画面に「EasyMP」と表示されるのを確認してください。

CardPlayerが起動してメモリカード、またはデジタルカメラ、USBストレージの内容が表示されます。JPEGファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。それ以外のファイルとフォルダはアイコン表示されます。





● オートランの設定をしたシナリオがメモリカードにある場合は、最優先で

- そのシナリオが自動的に再生されます。再生を中止したい場合は、リモコ ンの[ESC]ボタンを押します。
 - プロジェクターのカードスロットにメモリカードがセットされていない、 またはプロジェクターとデジタルカメラ、プロジェクターとUSBストレージが接続されていないと、次の画面が表示されます。この場合は、メモリカードをセットするか、デジタルカメラまたはUSBストレージを接続すると、手順3の画面が表示されます。

Eas	yMP		EPSON
	無間 または	RLANカード、メモリカードを挿入。 デジタルカメラを接続してください。	
	Network Scr 818 - Natural Screek	een Card Player	
	E/ C	и клк ÷99яла.	
X	プロジェクター名: EMP01234 ESSID : EMP01234 キーワード : 1234	 アドホックモードで抽動物種中です。 RCの用紙は数をアドホックモードにし、ESSI (ネッ) 会わせてください。 WFAIRASです。 2. 接続ソフト(EMT #S Connection) を活動して、接続 	
V100			1 #18123

- プロジェクターにメモリカードがセットされ、CardPlayer で内容が表示 されているときに、デジタルカメラまたはUSBストレージをプロジェク ターに接続しても、その内容を表示することはできません。同様に、デジタ ルカメラまたはUSBストレージが接続され、CardPlayerで内容が表示さ れているときに、メモリカードをセットしても、その内容を表示することは できません。
- JPEGファイルによっては、サムネイル表示に切り替えてもサムネイルが表示できないことがあります。その場合はファイルアイコンが表示されます。

CardPlayerの終了方法

操作

リモコンの[〇]ボタンを上に傾けて「EJECT」ボタンにカーソルを合わせ 1 ます。

EasyMP			キャン t	2 10 (ОК
Network Screen	Will222/MetworkScreen/Will28/	セキュリティ		-	_
有線LAN		OFF	O VEP	• NPA	LEAP
基本設定 無線LAN	WEP暗号	() 128Bit	64Bit		
基本設定	人力方式 キーID		ASCII	• 3	
セキュリティ	暗号キー1				
ネットワーク	晴号キー2 暗号キー3				
SNHP	暗号キー 4		1		
Card Player	PSK	_	_		
オプション	ユーザ名 パスワード	-			1
Daw 28	👍 #31 💷 Ri	ه (B18-18-48	ê.	[] inuts



2 リモコンの[Enter]ボタンを押します。

CardPlaverが終了し、次の画面が表示されます。

Easy	MP			EPSON
		無線LANカ たはデジタ	ード、メモリカードを挿入。 ルカメラを接続してください	
	Network	Screen	Card	Player -96845L27.
	E Tuitlas		KD-F	9991k2x9
	709±79-8:1 880 :1	199012345 19508 1234	1. アドホックモードで加速特殊中です アの加減LARをアドホックモードに 合わせてください。 WFPI加速で 2. 接続ソフト (DP NS Connection)	。 - ESSID (ネットワーク名) を
v100				[] WARS

3 プロジェクターのカードスロットからメモリカードを取り出します。 デジタルカメラまたはUSBストレージを接続している場合は、接続してい る機器の電源を切り、プロジェクターの[USB TypeA]端子から取り外し ます。



CardPlayerを終了しEasyMP待機画面が表示された状態で、メモリカード (またはUSBストレージ)を差し込んだままのときに、再度CardPlayerを起 動するには、メモリカード(またはUSBストレージ)を一度取り外し、再度差 し込んでください。

CardPlayerの基本操作

CardPlayerの操作には、次の2つの操作モードがあります。

- 「ガイドモード」:ファイル操作をするための Easy メニューが表示されます。
 Easyメニューで項目を選択してファイルの再生やオプション設定などの操作をします。
- 「クイックモード」:ファイルの再生、フォルダを開く、シナリオ編集時の移動 元スライド選択と移動先決定を、Easyメニューを使わず にリモコンの[Enter]ボタンを押すだけで実行できま す。

初期設定では「ガイドモード」に設定されています。操作モードの設定方法については、「画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する」をご覧ください。 ← p.71 クイックモードでの操作方法については、「クイックモードでの操作方法」をご

クイックモートでの操作方法については、アクイックモートでの操作方法」で 覧ください。 🖝 p.60

Easyメニューの操作方法(ガイドモード)

Easyメニューを使ってシナリオ、画像、動画の再生などをする手順を説明します。

操作

1 リモコンの [○] ボタンを傾けて、操作の対象となるファイルまたはフォル ダにカーソルを合わせます。





現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダが表示しきれていない場合 は、リモコンの[→]ボタンを押すか、「次のページ」ボタンにカーソルを合わ せてリモコンの[Enter]ボタンを押します。 前の画面に戻る場合は、リモコンの[→]ボタンを押すか、「前のページ」ボタ ンにカーソルを合わせてリモコンの[Enter]ボタンを押します。



2 リモコンの[Enter]ボタンを押します。

Easyメニューが表示されます。





Easyメニューは選択するものによって以下のように表示される項目が異なり ます。

シナリオを選択した場合

シナリオ再生	シナリオを再生します。 🖝 p.62
シナリオ編集	シナリオの編集画面を表示します。 🖝 p.66
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

画像ファイルを選択した場合

画像再生	画像を再生します。 ☞ p.68
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

動画ファイルを選択した場合

動画再生	動画を再生します。 ☞ p.68
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

フォルダを選択した場合

フォルダを開く	フォルダを開いてフォルダ内のファイルを表示します。フォルダ を開いた画面で、左上のフォルダアイコンを選択して[Enter]ボタ ンを押します。表示されたメニューで「一つ上の階層へ」を選択し て[Enter]ボタンを押すとフォルダを開く前の画面に戻ります。
スライドショー 再生	フォルダ内の画像ファイルや動画ファイルを順次再生します。 ☞ p.69
オプション	オプション設定画面を表示します。CardPlayerでスライド ショー再生するときの表示条件と動作モードを設定できます。 ● p.71
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

クイックモードでの操作方法

クイックモードでは次のように、リモコンの[Enter]ボタンを押すと主な機能を 直接実行できます。リモコンの[ESC]ボタンを押すとEasyメニューが表示され 、別の機能を実行することもできます。

ファイルまたはフォルダ選択時

[Enter]	フォルダ:開く シナリオ、画像、動画:再生
[ESC]	Easyメニュー表示

シナリオ編集中

[Enter]	移動元スライド選択、移動先決定
[ESC]	Easyメニュー表示、移動状態解除

画像を回転する

CardPlayerで再生したJPEG形式の画像を90°単位で回転できます。スライド ショー実行時に再生されるJPEG形式の画像も回転できます。 次の手順でJPEG形式の画像を回転します。

操作

1 JPEG形式の画像またはシナリオを再生するか、スライドショーを実行します。

JPEG形式の画像の再生 ☞ 「画像・動画を投写する」 p.68 シナリオの再生 ☞ 「シナリオの再生」 p.62 スライドショーの実行 ☞ 「フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順 番に投写する(スライドショー) | p.69

2 JPEG形式の画像が再生されたら、リモコンの [〇] ボタンを左右に傾けます。

[①]ボタンの傾ける方向と画像の回転は下図のとおりです。



シナリオの投写

ここでは、メモリカードやUSBストレージに転送したシナリオの再生方法とシ ナリオ再生中の操作方法、シナリオの編集方法について説明します。

シナリオの再生

再生するシナリオは、事前にEMP SlideMaker2の「シナリオ転送」機能でメモリ カードやUSBストレージに転送しておきます。 ← p.46



操作

- 1 CardPlayerを起動します。 p.55 セットしているメモリカード、またはUSBストレージの内容が表示されます。
- 2 リモコンの[○]ボタンを傾けて、再生するシナリオファイルにカーソルを 合わせます。
- **3** 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。

がイドモード :[Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 [○] ボタンを上下に傾けて「シナリオ再生」を選択して [Enter]ボタンを押します。



クイックモード: [Enter]ボタンを押します。

4 シナリオが再生されます。「シナリオ動作」が「自動」に設定されている場合 は最後まで再生すると、ファイル一覧表示に戻ります。繰り返し設定がされているときは、最後まで再生すると最初から再生を繰り返します。 「シナリオ動作」が「手動」に設定されている場合や、中止、停止を行うには、

| シテリオ動作」か| 手動」に設定されている場合や、中正、停止を行うには 次の「プレゼンテーション中の操作」をご覧ください。

- 投写順の変更や表示・非表示の設定は、シナリオ編集画面で行います。

 ・p.66
- ポイント シナリオ再生中、JPEG形式の画像が投写されているときは、画像を回転できます。 p.61

プレゼンテーション中の操作

シナリオ再生中は、リモコンで次の操作ができます。

画面切り替え	[Enter]またはページ[・]ボタンを押すと、次の画面に進みます。 ページ[・]ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
再生の中止	[ESC]ボタンを押すと、「シナリオ再生を終了しますか?」とメッ セージが表示されます。「終了する」ボタンを選択して[Enter]ボタ ンを押すと終了します。「戻る」ボタンを選択して[Enter]ボタンを 押すと再生を続けます。

プロジェクター本体の次の機能はCardPlayerでシナリオや画像ファイルを投 写しているときも同様に使えます。

静止
 A/Vミュート
 Eズーム

各機能の詳細 ☞ 『取扱説明書』「静止機能」、「A/Vミュート機能」、 「Eズーム機能」

シナリオからスライドを選んで投写する

シナリオで使用しているスライドの一覧を表示し、画像や動画を選んで投写で きます。

操作

1 CardPlayerを起動します。 ● p.55

セットしているメモリカード、またはUSBストレージの内容が表示されま す。

2 リモコンの[①]ボタンを傾けて、シナリオアイコンと同名のフォルダに カーソルを合わせます。



3使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。

ガイドモード : [Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 [①]ボタンを上下に傾けて「フォルダを開く」を選択して [Enter]ボタンを押します。



クイックモード: [Enter]ボタンを押します。

4 フォルダ内のスライドが表示されます。リモコンの[①]ボタンを傾けて、 再生するスライドにカーソルを合わせます。

アニメーションが設定されているスライド(拡張子が.EMA)はフォルダ表示 されます。このフォルダ内にはアニメーションの各部分に分かれたスライド ポイント が収録されているため、指定再生できません。

5 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。

ガイドモード : [Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「画像再生」または「動画再生」を選択して [Enter]ボタンを押します。



クイックモード: [Enter]ボタンを押します。

6 選択したスライドが再生されます。リモコンの[Enter]ボタンまたは[ESC] ボタンを押すと、スライド一覧表示に戻ります。別のスライドを再生するに は、手順4から繰り返します。

シナリオの編集

プロジェクターにセットしているメモリカード、またはUSBストレージに格納 しているシナリオに対して、スライドの投写する順番を変更したり、各スライド の表示・非表示を編集したりできます。

操作

1 リモコンの[○]ボタンを傾けて、編集するシナリオアイコンにカーソルを 合わせます。

2使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。

- ガイドモード : [Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「シナリオ編集」を選択して[Enter]ボタンを押 します。
- クイックモード : [ESC]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「シナリオ編集」を選択して[Enter]ボタンを 押します。

3 シナリオ編集画面が表示されます。

目的のスライドにカーソルを合わせます。 スライドの順番を入れ替える場合→手順4へ進む スライドを非表示にする場合 →手順6へ進む

▲ 使用中の操作モードに合わせて、リモコンの以下のボタンを押します。

- ガイドモード : [Enter] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。 メニューで「ファイル移動」を選択して[Enter]ボタンを押 します。
- クイックモード : 移動したいスライドにカーソルを合わせて [Enter] ボタ ンを押します。

5 カーソルを移動先に合わせ、リモコンの[Enter]ボタンを押します。



6 スライドを表示しないようにする場合は、目的のスライドにカーソルを合 わせて、使用中の操作モードによりリモコンの以下のボタンを押します。

ガイドモード : [Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「表示/非表示」を選択して[Enter]ボタンを押 します。

クイックモード :「ESC1ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「表示/非表示 |を選択して「Enter]ボタンを押し ます。



7 編集が終了したら、リモコンの[○]ボタンを上に傾けて「OK」ボタンにカー ソルを合わせて、リモコンの[Enter]ボタンを押します。

編集した内容でシナリオが保存され、ファイル一覧表示に戻ります。 保存しない場合は、「キャンセル」ボタンにカーソルを合わせて、リモコンの [Enter]ボタンを押します。

画像・動画ファイルの投写

デジタルカメラの画像ファイルや、メモリカード・USBストレージ内の画像・ 動画ファイルをCardPlayerで投写するには、次の2通りの方法があります。

- ・動画ファイルの投写
 1つのファイルの内容を再生して投写する機能です。
- フォルダ内の画像・動画ファイルの順次投写(スライドショー)
 フォルダ内のファイルの内容を、順番に1つずつ再生して投写する機能です。



動画投写時は頻繁にメモリカードやUSBストレージにアクセスします。そのときにメモリカードをカードスロットから取り出したり、USBストレージの接続を外さないでください。 CardPlayerに異常が発生する場合があります。

画像・動画を投写する

操作

- 1 CardPlayerを起動します。 p.55 セットしているメモリカード、または接続しているデジタルカメラやUSB ストレージの内容が表示されます。
- **2** リモコンの [①] ボタンを傾けて、投写する画像ファイルまたは動画ファイ ルにカーソルを合わせます。
- **2** 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。

ガイドモード : [Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「画像再生」または「動画再生」を選択して [Enter]ボタンを押します。



クイックモード:[Enter]ボタンを押します。

4 画像または動画が投写されます。リモコンの [Enter] ボタンまたは [ESC] ボタンを押すと、ファイル一覧表示に戻ります。





フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に投写する (スライドショー)

フォルダ内の画像・動画ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能を 「スライドショー」と呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。



操作

- 1 CardPlayerを起動します。 p.55 セットしているメモリカード、または接続しているデジタルカメラやUSB ストレージの内容が表示されます。
- 2 リモコンの[○]を傾けて、スライドショーを実行するフォルダにカーソルを 合わせます。

3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。

ガイドモード : [Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「スライドショー再生」を選択して[Enter]ボタ ンを押します。

- クイックモード : [ESC]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「スライドショー再生」を選択して[Enter]ボタ ンを押します。
- 4 スライドショーが実行され、フォルダ内の画像・動画ファイルが順に1つず つ投写されます。

最後まで投写すると、自動的にファイル一覧表示に戻ります。オプション 画面で「繰り返し再生」を「ON」に設定しているときは、最後まで投写すると 最初から投写を繰り返します。 ● p.71

シナリオと同様、スライドショー投写中は次画面に送る、前画面に戻す、再 生を中止することができます。 ●「プレゼンテーション中の操作」 p.63

オプションで表示時間設定を「なし」に設定している場合、スライドショー再生 を実行しても自動的にはファイルが切り替わりません。リモコンの[Enter]ま ポイント たは[+]ボタンを押して、次のファイルを投写します。
画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する

CardPlayerで画像・動画ファイルをスライドショー再生する場合の表示条件 と操作モードを設定できます。表示条件で設定できる内容は繰り返し再生、表 示時間設定、表示順序設定、画面切替効果、操作モード切り替えです。

操作

- 1 リモコンの [○] ボタンを傾けて、表示条件を設定するフォルダにカーソル を合わせます。
- 2 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。
 - ガイドモード : [Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「オプション」を選択して[Enter]ボタンを押し ます。
 - クイックモード : [ESC]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。 メニューで「オプション」を選択して[Enter]ボタンを押し ます。

3 各項目を設定します。

変更したい項目の設定にカーソルを合わせ、リモコンの[Enter]ボタンを押 すと、設定が有効になります。 各項目の詳細は次の表のとおりです。



画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する

繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定します。
表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定しま す。ここで設定した時間が経過すると、自動的に次のファイルが 表示されます。「なし」に設定すると、スライドショー再生を実行 しても自動的にはファイルが切り替わりません。「なし」に設定し た場合は、リモコンの[Enter]または[●]ボタンを押して、次の ファイルを表示します。
表示順序設定	表示するファイルの順番を設定します。
画面切替効果	ファイルの内容を表示するときの効果を設定します。
操作モード切替	CardPlayerでの操作モードを切り替えます。 初期設定は「ガイドモード」です。 ガイドモードの操作方法は「Easyメニューの操作方法(ガイドモー ド)」(● p.58)を、クイックモードの操作方法は「クイックモード での操作方法」 (● p.60)をご覧ください。

4 リモコンの[○]ボタンを上に傾けて「OK」ボタンにカーソルを合わせ、 [Enter]ボタンを押します。

設定が適用されます。

設定を適用したくない場合は、「キャンセル」ボタンにカーソルを合わせて、 [Enter]ボタンを押します。



コンピュータを使ってプロジェク ターの設定・監視・制御をする

ここでは、ネットワークを介して接続したコンピュータを使って、プロジェ クターの設定を変更したり、管理したりする方法を説明しています。

Web ブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb)	74
● EasyWeb を表示する	74
●Network Screen のツールバーを使う	74
● プロジェクターの IP アドレスを入力する	75
● プロジェクターの設定	76
● Web ブラウザで設定できない環境設定メニューの項目	
● Web ブラウザで設定できるネットワーク設定の項目	
● プロジェクターの制御	77
メール通知機能で異常を通知する	78
 ● メール通知機能の設定	78
● 異常通知のメールが送られてきたら	80
SNMP を使って管理する	81

Webブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb)

プロジェクターとネットワーク接続したコンピュータのWebブラウザを利用して、コンピュータからプロジェクターの設定や制御が行えます。この機能を使えば、プロジェクターから離れた場所から、設定や制御の操作ができます。また、 キーボードを使って設定内容を入力できるので、文字の入力を伴う設定も容易にできます。

Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer6.0以降を使用してください。 Macintoshをお使いの場合は、Safariも使用できます。ただし、Macintosh 10.2.8でSafariをお使いの場合はEasyWeb上のラジオボタンが一部正しく表 示されないことがあります。

プロジェクターの環境設定メニューの「拡張設定」→「待機モード」を「ネット ワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFF ポイント の状態)でも、Webブラウザを使った設定や制御ができます。

EasyWebを表示する

以下のどちらかの手順で、EasyWebを表示します。



ご使用のWebブラウザで、プロキシサーバを使用して接続するように設定されていると、EasyWebを表示できません。表示したい場合は、プロキシサー 、 バを使用しないで接続するように設定してください。

Network Screenのツールバーを使う

操作

1 ネットワークを介してプロジェクターとコンピュータを接続します。 ● 『EasyMPネットワーク設定ガイド』「コンピュータとプロジェクター をネットワーク接続する」 **2** Network Screenのツールバーの「プロジェクター操作URL表示」アイコ ンをクリックします。



Webブラウザが起動し、EasyWebが表示されます。



プロジェクターのIPアドレスを入力する

プロジェクターのネットワーク設定で「アクセスポイントモード」に設定してい る場合、または有線LAN接続モードで接続している場合は、次のようにプロジェ クターのIPアドレスを指定してEasyWebを開くことができます。

操作

- **1** コンピュータでWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力し、 コンピュータのキーボードの[Enter]キーを押します。 EasyWebが表示されます。

プロジェクターの設定

プロジェクターの環境設定メニューや、EasyMPの環境設定画面で設定する項 目を設定できます。設定した内容は、環境設定メニューやEasyMPの環境設定 に反映されます。

Webブラウザで設定できない環境設定メニューの項目

次の項目を除いて、プロジェクターの環境設定メニューの全項目を設定できま す。

- ●「映像」→「プリセット登録」
- 「エフェクト」メニューのすべての設定項目
- 「設定」→「台形補正」の「Quick Corner」
- 「ユーザーロゴ」メニューによるユーザーロゴの登録
- 「高度な設定1」→「言語」
- ●「情報」→「ランプ点灯時間初期化」
- •「全初期化」

各メニューの項目の内容はプロジェクター本体の環境設定メニューと同じで す。

● 『取扱説明書』「環境設定メニューの機能と操作」

┃ Webブラウザで設定できるネットワーク設定の項目

EasyMPの環境設定画面でのネットワークに関する全設定項目を設定できます。ただし、「MACアドレス」は表示されません。

各項目の内容は、EasyMPの環境設定画面と同じです。 ☞ 『EasyMPネット ワーク設定ガイド』「簡単接続モード(無線LAN)で接続する」、「アクセスポイン トモードまたは有線LANモードで接続する」

設定を変更した場合は、「反映」ボタンをクリックすると設定内容が反映されま す。

プロジェクターの制御



メール通知機能で異常を通知する

EasyMPのネットワーク設定でメール通知機能の設定をしておくと、プロジェ クターが異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電 子メールで通知されます。これにより、離れた場所にいてもプロジェクターの 異常を知ることができます。

- 𝗘 送信先(宛先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場
 ポイント
 合などは、メール送信できないことがあります。
 - プロジェクターの環境設定メニューで「高度な設定1」→「待機モード」を 「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態 (電源OFFの状態)でも、監視ができます。

メール通知機能の設定

メール通知機能を設定する前に、次の点をご確認ください。

- プロジェクターとコンピュータがアクセスポイントモードまたは有線LAN接 続モードで接続できるように、ネットワーク設定をしておきます。
 - ●『EasyMPネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線 LANモードで接続する」

操作

- プロジェクターをEasyMP待機画面にします。

 『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「プロジェクターを接続待機状態 にする」
- **2** 画面右下の「環境設定」ボタンが選択されていることを確認し、リモコンの [Enter]ボタンを押します。
- **3** 「ネットワーク」-「メール」ボタンにカーソルを移動し、リモコンの [Enter] ボタンを押します。

4 設定する項目にカーソルを移動し、[Enter]ボタンを押して各項目を設定します。

項目によっては文字や数値の入力が必要な場合があります。文字や数値の 入力方法は「文字や数値の入力方法」(● p.29)をご覧ください。

EasyMP		キャンセル	OK
Network Screen	環境設定/RetworkScreen/ネットワーク/メール		
有線LAN	メール通知機能	O ON	OFF
基本設定	SMTPサーバIPアドレス ポート寿号	000.000.000.000	
無線LAN	が いまう 宛先メールアドレス1	00023	
基本設定	宛先メールアドレス2		
セキュリティ	宛先メールアドレス3		
ネットワーク	通知イベントの語定 内部業常		
メール	ファン森希 センサ森希	2	
SNHP	ランプ点灯失敗 ランプ切れ	2	
Card Player	ランプカバー開状態 の記事具要素		
+====	推进30中 5.1.1118855		
17937	ノーシグナル		
tuu 決電	🕂 #R 📖 R5	1 展上段へ移動	11 maioz.

メール通知機能	メール通知を行う場合に「ON」を選択します。
SMTPサーバIP アドレス	プロジェクターが使うSMTPサーバのIPアドレスを入力しま す。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。 ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x.224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)
ポート番号	SMTPサーバのポート番号を入力します。初期値は25です。 1~65535までの有効な数値を入力できます。
宛先メール アドレス1/2/3	通知メールの送信先のメールアドレスを、最大3件まで登録で きます。 半角英数字で最大53文字まで入力できます。 EasyMPの環境設定画面では32文字を超える入力はできません。EasyWebから設定すると、32文字を超える入力ができます。 ● p.74
通知イベントの 指定	メールで通知するプロジェクターの異常/警告を選択します。 選択した異常/警告がプロジェクターで起きたときに、「宛先 メールアドレス」で指定したメールアドレスに異常/警告が発 生したことを通知します。 表示されている項目より複数選択できます。

※「クリア」ボタンが表示される項目では、「クリア」ボタンを選択してリモコンの [Enter]ボタンを押すと、入力内容が消去されます。

5 リモコンの[・]ボタンを押してカーソルを「OK」ボタンに移動し、[Enter] ボタンを押します。

EasyMP待機画面に戻ります。

異常通知のメールが送られてきたら

メール通知先に設定した<u>IPアドレス</u>♥に、件名が「EPSON Projector」と記載さ れたメールが送信されてきたら、それがプロジェクターの異常を通知するメー ルです。

メールの本文には次のことが記載されています。

1行目:異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目:異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降:異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す内容は次表のとおりです。

メッセージ [※]	原因	対処方法
Internal error	内部異常	● 『取扱説明書』「インジケー
Fan related error	ファン異常	タの見方」
Sensor error	センサ異常	
Lamp cover is open.	ランプカバー開状態	
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗	
Lamp out	ランプ切れ	
Internal temperature	内部高温異常	
error	(オーバーヒート)	
High-speed cooling in progress	高速冷却中	
Lamp replacement notification	ランプ交換勧告	
No-signal	ノーシグナル	プロジェクターに映像信号が入力 されていません。接続状態や、接 続している機器の電源が入ってい るかを確認してください。

※メッセージの最初に(+)や(-)が付きます。

(+):本機に異常が発生した場合

(-):本機の異常が対処された場合

SNMPを使って管理する

EasyMPのネットワーク設定でSNMPの設定をしておくと、プロジェクターが 異常/警告状態になったとき、設定したコンピュータに異常状態が通知されま す。これにより、離れた場所で集中管理している状態でもプロジェクターの異 常を知ることができます。

- SNMPによる管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- ボイント SNMP機能を使ってプロジェクターを監視するには、コンピュータ側に SNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。
 - SNMP を使った管理機能は、無線 LAN の簡単接続モードでは使用できません。
 - 通知先のIPアドレスは2つまで登録でき、1番目に指定したIPアドレスに 通知できなかった場合、2番目のIPアドレスに通知されます。

操作

- **1 プロジェクターをEasyMP待機画面にします。** 『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「プロジェクターを接続待機状態にする」
- **2** 画面右下の「環境設定」ボタンが選択されていることを確認し、リモコンの [Enter]ボタンを押します。
- **3** 「ネットワーク」ー「SNMP」ボタンにカーソルを移動し、リモコンの [Enter] ボタンを押します。

4 設定する項目にカーソルを移動し、[Enter]ボタンを押して各項目を設定します。

数値の入力方法は「文字や数値の入力方法」(← p.29)をご覧ください。



SNMP♥	SNMPのトラップ♥を通知するコンピュータのIPアドレスを
トラップIP	入力します。
アドレス1/2⋫	「SNMPトラップIPアドレス1」で指定したIPアドレスに通知
	できなかった場合、「SNMPトラップIPアドレス2」で指定した
	IPアドレスに通知されます。アドレスの各フィールドには0
	~255の数字を入力できます。
	ただし、以下のIPアドレスは使用できません。
	127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)

※「クリア」ボタンが表示される項目では、「クリア」ボタンを選択してリモコンの [Enter]ボタンを押すと、入力内容が消去されます。

5 リモコンの[・]ボタンを押してカーソルを「OK」ボタンに移動し、[Enter] ボタンを押します。

EasyMP待機画面に戻ります。

付 録 ここでは、本書で使用している用語の解説と索引を記載しています。

用語解説	84
索引	87

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

CCX	Cisco Compatible Extensionsの略で、シスコシステムズ社の無線 LANセキュリティ技術です。CCXでは、 <u>RADIUSサーパ</u> →を使って認 証を行います。CCXには認証方式がいくつかありますが、本機では 「 <u>LEAP</u> →」を使用します。
DPOF	Digital Print Order Formatの略で、デジタルカメラで撮影した写真を プリントするための情報(プリントしたい写真とその枚数の指定など) を、メモリカードなどの記録媒体に記録するフォーマットです。
ESSID	ESSとはExtended Service Set(拡張サービスセット)の略です。 ESSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。 ESSIDが一致している機器どうしで無線通信できます。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のこと です。
LEAP	CCX [▶] の認証方式のひとつです。電子証明書は使わず、ユーザー名と パスワードで認証を行います。
NDIS	Network Driver Interface Specificationの略で、Microsoft社などに よって取り決められた、無線LANカードなどのネットワークカードの 機能を利用するためのネットワークドライバの標準仕様です。OSやア プリケーションソフトとドライバが通信するための手順や、ドライバと ネットワークカードが通信するための手順などを規定しています。
RADIUSサーバ	「RADIUS」はRemote Authentication Dialin User Serviceの略で、無線 LANをはじめとする、様々なネットワークサービスでの認証に利用される プロトコルです。RADIUSサーパはRADIUSを使用した認証サーパ ・で、 ユーザー名やパスワードなどの情報を持ち、無線LANアクセスポイントへ のアクセスに対する認証を集中的に行います。RADIUSサーパを利用す ると、無線LANアクセスポイントが複数ある場合でも、各アクセスポイン トに個別にユーザー情報を登録する必要がなく、アクセスポイントやユー ザーを集中管理することができます。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいて、ルータやコンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocolの略で、WPA [▶] で使用される暗号化 方式です。一定間隔で自動的に暗号キーを更新し、暗号を解読されにく くします。
WEP	Wired Equivalent Privacyの略で、通信中のデータを暗号化するセ キュリティ方法です。 WEPで暗号キーを登録しておくと同じ暗号キーが登録されている機器 どうしでないとデータの通信が行なえなくなります。

WPA	Wi-Fi Protected Accessの略で、WEP [▶] の弱点を補強しセキュリティ 強度を向上させた暗号化規格です。暗号化方式に <u>TKIP</u> ▶を使います。
チャンネル	同じ周波数を使用して無線通信する機器が多いと、通信速度が低下しま す。その場合、無線LANネットワークごとに無線チャンネルを設定す ることで、他の無線LANの干渉を避けることができます。
トラップIP アドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピュータのIPアドレス ゆことです。
認証サーバ	ユーザー認証を集中的に行なうためのサーバです。認証サーバを使う と、ユーザー情報の管理とユーザー認証作業を一元化することができま す。また、認証サーバは高度な認証方式を備えていることが多いため、 セキュリティ対策にも有効です。

MEMO

索引

<u>アルファベット</u>

AC-3	34,	54
BGM	37,	49
bmp	34,	54
CardPlayer	53,	55
CMYK カラーモード形式	34,	54
DPOF		.54
EasyWeb		.74
Easy メニュー		.58
EMA		.39
EMP SlideMaker2		.32
ESSID 自動検索		.30
Eズーム	5,	63
gif		.54
IP アドレス		8
IP 指定接続モード		8
JPEG	38,	54
jpg	34,	54
LEAP	24,	28
MPEG		.54
MPEG1 レイヤー2	34,	54
MPEG2-PS	34,	54
mpg	34,	54
mrk		.54
Network Screen		3
png		.54
PowerPoint		.34
PSK		.28
sit		.54
SMTP サーバ IP		.79
SNMP		.81
SNMPトラップIPアドレス		.82
wav		.34
Web ブラウザ		.74
WEP		.24
WEP 暗号		.27
WPA	24,	28

アイウエオ

ア

明るさ	6
宛先メールアドレス	79
アニメーション	51
暗号化	21

暗号化通信	22
暗号キー	27
異常通知のメール	78
オートラン	46

カ

ガイドモード	58
各アイコンの名称と働き	4
画質	38
画像	34
画像再生	59
画像を回転	61
画像・動画ファイル	68
画像・動画ファイルの投写	68
画面切り替え	63
画面切替効果	72
カラーモード	6
+− ID	27
クイックモード	58,60
繰り返し	47,72
グループ	
コントラスト	6

サ

最高画質	
再生の中止	63
作業用フォルダ	
シナリオ	32
シナリオ動作	52
シナリオの簡易作成	48
シナリオの再生	62
シナリオの転送	46
シナリオの投写	62
シナリオの編集	66
シナリオプレビュー	49
シナリオ名	
スライドショー	69
スライドショー再生	60
セル	
操作モード	71

タ

通知イベントの指定	79
ツールバー	4
動画再生	59

位録

ナ

入力方式	
認証	
ネットワーク設定	

八

背景色	37
パスワード	28
表示時間設定	72
表示順序設定	72
表示条件	71
ファイアウォール	21
不正アクセスを防ぐ	23
プレゼンテーション	53
プレゼンテーション中の操作	63
プレビュー	49
プログレッシブ形式	34,54
プロジェクターの制御	77
プロジェクターの設定	76
ポート番号	79

マ

メール通知機能	78
文字や数値の入力方法	29

ヤ

ユーザ名	
リニア PCM	

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、 お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので ご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用 する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格 に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装 置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすこと があります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低 (瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦め します。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2 「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/Vは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。 Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer Inc.の登録商標です。

Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の登録商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

Cisco Systemsは米国その他の国におけるシスコシステムズ株式会社の登録商標です。 Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。

EasyMP はセイコーエプソン株式会社の商標です。

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Portions Copyright © 2003 Instant802 Networks Inc. All rights reserved. なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重 いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。





この取扱説明書は再生紙を使用しています。

環境にやさしい大豆油インキ を使用しています。 © セイコーエプソン株式会社 2004

EPSON

●エプソン販売のホームページ [I Love EPSON」 http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

129-322 エブソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。 FAQ http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

20570-004141 【受付時間】9:00~17:30 月~金曜日(祝日·弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電 会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042)582-6888までお電話ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日~金曜日 9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 20570-090-090 【受付時間】月~金曜日9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の 新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日~金曜日9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)※松本修理センターは365日受付可。

* 平日の17:30~20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00~20:00の電話受付は0263-86-9995 (365日受付可)にて日通諏訪支店で 代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

※ 0570-004110 【受付時間】月~金曜日9:00~20:00 土曜日10:00~17:00(祝日·弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電 電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/

	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
エプソンスクエア新宿	〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
	【開館時間】 月曜日~金曜日 9:30~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア御堂筋	〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
	【開館時間】 月曜日~金曜日 9:30~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! http://myepson.i-love-epson.co.jp/

カンタンな質問に答えて 会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 (ホームページアドレス http://www.epson-supply.co.jp/ またはフリーダイヤル0120-251528) でお買い求めください。

エプソン販売株式会社 〒160-8 セイコーエプソン株式会社 〒392-8

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5